

## 理科の不思議、面白さ体験

夏休み親子理科教室・理科研修会を、宮城県教育研修センター企画班の先生方を講師に招き、登米小学校で8月7日(木)に開催しました。午前に実施した「親子理科教室」には、58組が参加した。デモンストレーション(星空観察、液体窒素と空気砲の実験)、理科工作(うーちゃん、うさぎさん、浮沈子、かざぐるま)試し遊びの内容で行われた。

午後に実施した「理科研修会」には、市内小中学校より27名が参加した。新学習指導要領での理科の内容と移行措置への対応、理科教材教具の紹介、理科室経営等について指導を受けた。



講師の先生方(宮城県教育研修センター企画班)



液体窒素実験の様子



うーちゃんの試し遊びの様子

## 【児童の声】

えき体ちっその勉強と空気ほうの勉強をして、ビックリしたことは、えき体ちっその温度は、マイナス196の温度で、ビックリしました。空気ほうは、本物の空気を見れてうれしいです。(3年生)

今日は、お父さんといっしょにいろいろな物を作れてよかったです。(4年生)

今日はいろいろな工作や星の話をしました。一番たのしかったことは、かざぐるまです。さいしょはできなかったけれどもだんだんできてきました。夏休みの思い出になりました。(5年生)

今まで自分が知らなかったことなどを知って、とても良い勉強になったし、特に、風車は楽しみながら勉強になったのでとても楽しかったです。(6年生)



夏休み親子理科教室参加者

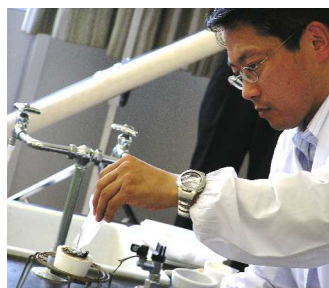
## 【保護者の声】

身近にある簡単な材料で、とても楽しいおもちゃの作り方を教えて頂き、とても有意義に過ごすことができました。“親子で”共通のものに取り組める、という体験も良かったです。日程があれば、また来年も参加したいです。

子供と一緒に実験の結果にワクワク、ドキドキ、とても分かりやすい説明だったので、とても時間が短く感じました。工作も上手にできました。家でも他の兄弟と楽しみたいと思います

子供の頃、理科の学習がこんなふう楽しくできていたら、現在の私とは違っていたと思います。今日は親子ともども有意義な時間を過ごせました。

日常生活では、問題とったり不思議とったりせず過ごしているが、ちょっと考え、“なぜ”と思う疑問が大切と思いました。親子で理科を学びスキップの時間になりました。



講師による教材模擬実験

## 【理科研修会受講者の声】

映像では最近よく目にする「液体窒素」の実験ですが、目の前で自分も参加しながら行くと、やはりすごいなと思いました。ぜひ子供たちにも見せたいなと思いました。

驚きと感動いっぱいデモンストレーションで、学年問わずすぐにでも、子供たちと一緒に挑戦してみたいものでした。身近な物で、抵抗なくできそうです。



理科研修会受講者